中国・四国地方

名前

問1　1988年に、岡山県と香川県を島々を伝って結ぶ「本州四国連絡橋（児島・坂出ルート）」が完成しました。これにより本州と四国が陸路で直接結ばれ、物流や人の移動が劇的に変化することとなりました。この時に開通した橋の名称として正しいものを選びなさい。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 明石海峡大橋
2. 瀬戸大橋
3. しまなみ海道
4. 青函トンネル

問2　中国地方の中央部に位置し、広島湾に面する広島市は、周辺の県を含めた広域的な中心地としての役割を持っています。この都市が持つ機能や特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 広大な平野を利用した稲作が盛んであり、古くから食糧供給の拠点として発展してきた。
2. 瀬戸内工業地域の中核として、みかんなどの果樹栽培とそれを利用した食品加工業が最も盛んである。
3. 国の出先機関や民間企業の支店が集中し、地方中枢都市としての機能を果たしている。
4. 四国地方最大の都市として、本州と四国を結ぶ交通の要所に位置する商業の中心地である。

問3　中国・四国地方に位置し、瀬戸内海に面したある県では、児島湾などの沿岸部で大規模な「干拓」が行われ、農地が拡大されてきました。この地域に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 山間部の急斜面を切り開いて段々畑を造り、温暖な気候を利用してミカンの栽培を行っている
2. 地方中枢都市としての機能を高めるため、沿岸部の埋め立て地に多くの官公庁を移転させた。
3. 波の静かな入江を利用して、カキや真珠などの大規模な養殖業を産業の中心としている。
4. もともと塩分を含み農業に不向きだった土地を改良し、広大な農地として利用している。

問4　鳥取県の農業について述べた次の文のうち、産出額の構成とその背景について説明したものとして正しいものはどれですか。（2017年 富山県公立入試 類似）

1. 瀬戸内海の温暖な気候と傾斜地を活かした、レモンやみかんなどの果実栽培が中心である。
2. 干拓によって得られた広大な平地を利用した、大規模な稲作が中心となっている。
3. 大山の裾野に広がる広大な土地を利用して、牛や鶏などの飼育が盛んに行われている。
4. 大都市に近い立地を活かし、キャベツやレタスなどの近郊農業が産出額の半分以上を占める。

問5　交通網の整備によって、ある地点から別の地点へ移動するために必要な時間が短くなることを「時間距離の短縮」といいます。1988年に瀬戸大橋が開通した際、本州の岡山駅と四国の高松駅の間で見られた変化の説明として、最も適切なものはどれですか。（2016年 香川県公立入試 類似）

1. 船舶から鉄道や自動車への転換により移動時間が大幅に短縮され、定期券の利用者が急増した。
2. 橋の建設によって海を埋め立てたため、両駅間の物理的な移動距離そのものが短縮された。
3. 交通手段が多様化したことで、移動時間に関わらず運賃が大幅に引き下げられた。
4. 移動にかかる時間は変わらなかったが、橋の完成による心理的な安心感から利用者が増加した。

問6　ある統計資料によると、特定の農産物の国内生産量において、香川県が96.5%という圧倒的な割合を占めています。香川県（特に小豆島など）でこの農産物の栽培が盛んになった理由として、最も適切な説明を選択してください。（2016年 東京都公立入試 類似）

1. 地中海沿岸の気候に似て、年間を通じて温暖で降水量が少ないため
2. 北欧の気候に似て、冷涼で夏場の日照時間が極めて長いため
3. 東南アジアの気候に似て、高温多湿で年間降水量が非常に多いため
4. 中央アメリカの高原地帯に似て、火山灰土壌で年中冷涼なため

問7　香川県高松市の南部など、瀬戸内地方の地域に見られる「ため池」の役割と、その背景となる自然環境について述べた文として、正しいものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）

1. 黒潮の影響で年間を通じて温暖湿潤な気候であるため、二毛作を行うための大量の灌漑用水が必要である。
2. 広大な平野が広がり河川の勾配が緩やかなため、湿地帯を乾燥させて宅地化するために水を抜く必要がある。
3. 季節風の影響で冬の降雪量が多く、春先の融雪洪水から耕地を守るために一時的に水を貯める必要がある。
4. 四国山地によって湿った南東の季節風が遮られ、降水量が少なくなるため、人工的に水を貯める必要がある。

問8　瀬戸内工業地域において、製造品出荷額等に占める「化学工業」の割合が全国平均（14.4%）を大きく上回る約20.5%（2021年）となっている理由として、最も適切な説明はどれか。（2025年 宮城県公立入試 類似）

1. 阪神工業地帯に近接している利点を活かし、自動車や造船などの組み立てを行う機械工業が産業の大部分を占めるようになったため。
2. 内陸部の豊富な水資源と高速道路網を活かして、IC（集成回路）などの電子部品を生産する工場が数多く進出したため。
3. 瀬戸内の温暖な気候で栽培される柑橘類などの農産物を加工する、大規模な食品加工団地が各地に整備されたため。
4. 大型船の入港に適した穏やかな海に面する臨海部に、原料の輸入と製品の出荷に便利な石油コンビナートが形成されたため。

問9　吉備中央町における2014年から2021年にかけての農業の動向について、統計的な傾向を説明したものとして正しいものはどれですか。（2025年 宮城県公立入試 類似）

1. 新規就農者の受け入れと生産基盤の整備により、農家1戸あたりの経営面積が拡大し、それに伴って果実の産出額も大きく伸びている。
2. 高齢化による離農者が相次いだため、1戸あたりの経営面積は縮小したが、ブランド化による単価上昇によって果実の産出額は横ばいとなっている。
3. 品種改良によって収穫時期を分散させることには成功したが、経営規模や新規就農者の数については、期間を通じて大きな変化は見られない。
4. 耕作放棄地を工業団地へと転用したため、農地面積は減少しており、果実の産出額も2014年以降、減少傾向にある。

問10　1985年から2015年にかけての四国地方と他地域間の交通手段の変化をまとめた統計において、かつて主要な移動手段であった船舶の利用割合が激減し、代わって自動車の利用が急増して全体の過半数を占めるようになりました。このような交通の変化をもたらした最大の要因として、最も適切なものはどれですか。（2020年 鳥取県公立入試 類似）

1. 格安航空会社（LCC）の参入によって航空機の利用料金が下がり、船舶から航空機への転換が進んだこと
2. 瀬戸大橋をはじめとする本州四国連絡橋が相次いで開通し、本州との間の陸上交通網が整備されたこと
3. 四国全域を網羅する新幹線網が完成したことにより、鉄道と自動車の連携による移動が普及したこと
4. 環境保護の観点から瀬戸内海での大型船舶の航行が厳しく制限され、物流の主役がトラックへ移行したこと

問11　中国地方の瀬戸内海沿岸に位置する広島県の県庁所在地について、国の出先機関や民間企業の支店が多く集まり、その地方の政治・経済を支える役割を持つ都市の分類として最も適切なものを次から選びなさい。（2016年 岐阜県公立入試 類似）

1. 首都圏機能分担都市
2. 地方中枢都市
3. 政令指定都市（ただし、地方中枢都市ではない）
4. 工業指定都市

答え合わせ・解説

問1	答え 2 瀬戸大橋	1988年に開通した瀬戸大橋は、岡山県（本州）と香川県（四国）を結ぶ道路・鉄道併用橋です。この開通により、それまで船舶に頼っていた本州と四国間の交通が劇的に改善されました。同じ1988年には北海道と本州を結ぶ青函トンネルも開通していますが、こちらは橋ではなく海底トンネルです。明石海峡大橋は1998年に開通した兵庫県と淡路島を結ぶ橋です。
問2	答え 3 国の出先機関や民間企業の支店が集中し、地方中枢都市としての機能を果たしている。	広島市のように、地方の政治・経済・文化の核となる都市は「地方中枢都市」と呼ばれます。広島市は中国・四国地方を代表する都市として、行政や企業の管理機能が高度に集積しています。選択肢にある「みかんの生産」は愛媛県などの特徴であり、広島市の中心的な機能はあくまでも都市としての管理・中枢機能にあります。
問3	答え 4 もともと塩分を含み農業に不向きだった土地を改良し、広大な農地として利用している。	岡山県の児島湾周辺などは、遠浅の海を堤防で仕切り、水を抜いて陸地にする「干拓」によって造られた土地です。干拓地はもともと海底だったため土壌に塩分を多く含んでおり、農業を行うには不向きな環境でしたが、用水路の整備や排水技術の向上によって、県内を代表する農業地帯へと発展しました。
問4	答え 3 大山の裾野に広がる広大な土地を利用して、牛や鶏などの飼育が盛んに行われている。	鳥取県の農業産出額において、畜産は全体の58.1%を占める主要な部門です。これは、大山の周辺に広がる緩やかな傾斜地や広大な土地が、家畜の飼育や牧草地として適しているという地理的条件に基づいています。一方で、米（12.5%）、野菜（10.8%）、果実（7.9%）などの割合は畜産に比べると低くなっており、全国的に見ても畜産に特化した産出構造を持っているのが特徴です。
問5	答え 1 船舶から鉄道や自動車への転換により移動時間が大幅に短縮され、定期券の利用者が急増した。	瀬戸大橋の開通は、それまで船舶に頼っていた本州と四国の間の移動を劇的に変化させました。1987年から1991年にかけてのJR岡山駅・高松駅間の定期券利用者数の推移を見ると、橋が開通した1988年を境に利用者が急増しています。これは「時間距離」が短縮されたことで、県境を越えた通勤や通学が現実的なものとなり、生活圏が一体化したことを示しています。物理的な「距離」は変わりませんが、交通網の整備によって「移動時間」という尺度の距離が縮まったことが重要なポイントです。
問6	答え 1 地中海沿岸の気候に似て、年間を通じて温暖で降水量が少ないため	オリーブの栽培には、地中海沿岸に見られるような「乾燥した夏」と「温暖な冬」という条件が重要です。香川県を含む瀬戸内海沿岸は、季節風が山地に遮られるため年間を通じて降水量が少なく、日照時間が長いという特徴があり、オリーブの生育環境として日本国内で最も適していました。
問7	答え 4 四国山地によって湿った南東の季節風が遮られ、降水量が少なくなるため、人工的に水を貯める必要がある。	瀬戸内の気候は、夏は四国山地が南東の季節風を、冬は中国山地が北西の季節風を遮るため、全国的に見ても雨が少ないのが特徴です。そのため、農業、特に稲作において重要となる「水」を確保する手段として、地形図上に点在するような多くのため池が建設されました。水害対策や工業用水という側面よりも、気候に由来する農業用水の確保が主な目的です。
問8	答え 4 大型船の入港に適した穏やかな海に面する臨海部に、原料の輸入と製品の出荷に便利な石油コンビナートが形成されたため。	瀬戸内海沿岸は、波が静かで水深が深いという自然条件から大型船が接岸しやすく、海外からの原料輸入に頼る重化学工業の立地に適しています。戦後、この有利な条件を活かして、石油化学製品などを一貫して生産する「石油コンビナート」が形成されたことで、製造品出荷額等における化学工業の割合が他の地域に比べて高くなりました。
問9	答え 1 新規就農者の受け入れと生産基盤の整備により、農家1戸あたりの経営面積が拡大し、それに伴って果実の産出額も大きく伸びている。	吉備中央町の統計では、2014年から2021年にかけて営農規模（1戸あたりの面積）が26aから37aへと拡大しています。これは町による「ぶどう生産団地」の整備や共同出荷体制、研修制度の充実が功を奏し、意欲のある新規就農者が増えたためです。この経営規模の拡大に比例するように、果実の産出額も同期間で顕著な増加を示しており、地域の基幹産業としての成長が見て取れます。
問10	答え 2 瀬戸大橋をはじめとする本州四国連絡橋が相次いで開通し、本州との間の陸上交通網が整備されたこと	1988年の瀬戸大橋開通を皮切りに、神戸・鳴門ルート、尾道・今治ルート（しまなみ海道）といった本州四国連絡橋が次々と整備されました。これにより、それまで船舶に頼っていた本州への移動が、自家用車や高速バス、トラックなどの自動車中心へと劇的に変化しました。この変化は「陸続き」になったことによる利便性の向上を象徴しています。
問11	答え 2 地方中枢都市	広島市は、中国地方全体を統括する国の行政機関や民間企業の支店が集中しており、この地方の政治・経済の中心地となっています。このような都市は「地方中枢都市」と呼ばれ、他にも札幌市、仙台市、福岡市などが該当します。また、広島市は1980年に政令指定都市にも指定されています。